

都農町地域資源マップ 16班

岩崎優斗・白名英人・土居千莉・林来瞳

③

名貴川



大きな岩や段差がたくさんあり、危険であると感じた。川の水は透き通っていてきれいだった。フィールドワークに行ったときは見ることができなかったが鮎やなぎ、ヤマメがいるそうだ。

(土居)

出典：名貴川 | FISHPASS(フィッシュパス)

②

名貴橋



1957年建設された。現在は老朽化が進んでおり、5年ごとの定期点検や長寿命化のための計画的な修繕がなされている。名貴橋周辺の道路には、貨物自動車が多く通行していた。都農町には、高速道路のICもあることから、荷物の運搬のために重要なのではないかと考えた。(岩崎) 出典：<https://prdurbanostnapp1.blob.core.windows.net/>

①

三日月神社



国道沿いの階段を登ったところにある。あまり整備されていないため訪れる人は少ないと感じた。階段の先には賽銭箱があった。主祭神と創建が誰であるのかは書いていなかった。(土居)

⑥

記念碑



農業構造改善事業に関して昭和52年に建てられた記念碑があった。都農町には他にも、口蹄疫慰霊碑や若山牧水歌碑、殉国慰霊塔などの、文学碑・歴史碑・慰霊碑がある。(岩崎)

⑦

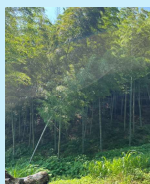
急な坂道



かなり急な坂道。途中に水路があって小さい魚がたくさんいた。降りるときはかなり急なので気をつけて降りないと危険。(白名)

⑧

竹藪



折れかけの竹や倒れている竹が見られた。近くには水田や住宅地へつながる道路があり、今後水田や道路への飛び出し等の危険性があると考えられる。(林)

⑨

上名貴神社



大通りから離れた急な坂を登ったところにある。御祭神は菅原道真である。境内には上名貴神社公式LINEの掲示があり、公式LINEから提灯奉納や出張祭典、神札と御朱印を受け取る申し込みができる。赤い羽根共同募金のボードが付いているベンチもあった。(土居)

⑩

河野果樹園道端の駅ぶどう畑



住宅地の端のほうに位置しており、ぶどうとなしを栽培している。化学肥料を一切使わずに赤土と黒土を混ぜていることがわかり。直売所の経営やぶどう狩りができる。(林)

出典：まるごと口紅に輝くふもと園と果実の地がいた。南国・宮崎生まれのシャインマスカット。①河野果樹園(林)

⑪

サツマイモ畑



芋焼酎に使用するサツマイモを育てている。品種は紅はるか。かなり広い面積を育てている。挿し木の方法で植えていた。人手不足なのでバイトの方が植えていた。(白名)

④

太陽光パネル



国道の両側に設置されている太陽光パネル。地図で見て左側に6〜7枚、右側には20枚程度設置されていた。都農町では令和3年に制定された都農町景観条例に基づき、地上に設置される太陽光発電設備などについて、工事届出の提出を義務付けられている。(林)

出典：太陽光発電施設(ソーラーパネル)建設について | 都農ページ(都農町公式ホームページ)

⑤

たなか屋



ご飯屋で、お昼に開店してから多くのお客様が来店していた。家族連れの方や作業着を着ている方、年配の方など幅広いお客さんが来店していて、お店はにぎわっていた。夫婦で、経営をされている。(岩崎)

⑫

キャベツ畑



YRSEという品種とはつこいという品種を育てている。福岡など全国に向けて販売している。JAとの契約によって栽培しているため、収入は安定している。(白名)

：自然や植物等
：建物等
：危険な場所

インタビュー

キャベツ農家の江藤さんにインタビューをさせていただいた。その方の話によると、YRSEという品種と初恋という品種を育てていて、JAとの契約による栽培をしているため収入は農家の中では、安定しているらしい。肥料には、周りの農家の方たちから堆肥を集めているため化学肥料を使っていない。販売先は、宮崎だけでなく福岡などの全国に向けて販売している。夏は、暑さによってキャベツがだめになってしまうため、東京ドーム1個分ほど米を育てている。ほかの米農家は米の苗を下ろしてもらっているの、苗の高騰により米農家を続けるのが難しいが、江藤さんは、苗から作っているのでも米農家を続けられている。昔は、畜産やミカンを育てていたそうだが、畜産は価格の下落によって生活していくことが困難になってしまったので畜産はやめて、ミカンは寒波による影響で枯れてしまったのでやめてしまった。また、農作業をしていた金丸さんという方にもインタビューさせていただいた。その方には、都農町の名産について教えていただいた。名産には、トマト、梨、ブドウ(デラウェア)、マスカット、スイートピー、キウイ、スイカ、牛、鶏、米などがある。自分たちでたくさんの農作物を栽培しているので食費をかなり減らすことが出来ている。

感想

フィールドワークを通して、都農町は自然豊かな良い地域だと感じた。事前学習で自分達が行く場所の地図を見た時は田畑が多いと思うくらいで、その場所について十分に理解していなかった。しかし、実際に足を運んでみると、栽培されている野菜や多くの方が訪れる飲食店があることを知れた。また、資源に注目して歩いたことで危険な竹藪や坂など今までで気づけなかったことに目を向けることができた。飲食店やスーパー、コンビニをほとんど見かけなかったことと、高齢者が多かったことを考えると、車がなくて買い物などの生活に必要な行動が困難になるのではないかと感じた。インタビューでは、人通りが少なかったことから不安もあったものの、金丸さん、江藤さんといった方々の協力もあり、多くの話を聞くことができた。都農町の魅力や野菜経営についてお話を伺うことができ、特に、自宅で畑を耕して食費を浮かせているという話や、都市部から遊びに来る親戚の子供たちに都市部ではなかなか経験できない農作業をさせているというお話がとてもよいと思った。今回のフィールドワークでは、チームメンバーと歩きながら見つけたものを共有することができ、実り多いものにすることができた。そして、都農町の自然の豊かさ、そしてそこに暮らす人々の温かさに触れることができる貴重な機会となった。